

# ヘルス・プロモーション・ティンゲに向けた大学全体の取り組み —ブリティッシュ・コロンビア大学

放送大学教授 岩崎 久美子

## ブリティッシュ・コロンビア大学の概要

ブリティッシュ・コロンビア大学（以下、UBC）はカナダ西部にあり、二〇二三年 Times Higher Education の世界ランキングでは四〇位、カナダ国内のランキングでは二位の世界的に卓越した研究総合大学の一つである。このUBCは、ブリティッシュ・コロンビア州西部にあるバンクーバーキャンパス（Vancouver: UBCV）と同州内陸部のケロウナ市にあるオカナガンキャンパス（Okanagan: UBCO）の二つのキャンパスを有しているが、このうちのオカナガンキャンパスにおいて、二〇一五年六月、世界保健機関（WHO）、ユネスコ（UNESCO）を代表に四五カ国からの参加者が集まり、「ヘルス・プロモーションに向けた大学およびカレッジ構想に関する国際会議」(the 2015 International Conference on Health Promoting University (HPU) Initiative) が

行われた。三日間にわたる会議の成果として、ヘルス・プロモーションに向けた大学への取り組みを促す「オカナガン憲章」(The Okanagan Charter: An International Charter for Health promoting Universities & Colleges) が制定され、UBC学長、UBC学生連合オカナガン代表、そして、カナダ西部のUBCと地域を同じくするオカナガン・カレッジ学長やサイモンフレザー大学学生協会代表によって最初の署名がなされた。

## オカナガン憲章とUBCの具体的な取り組み

「ヘルス・プロモーションに向けた大学構想」はWHOが主導してきたものであり、国際的に、あるいは各国国内において、「ヘルス・プロモーションに向けた大学ネットワーク」といった組織が形成されている。これらの世界的な流れを受けて、前述の二〇一五年の国際会議がUBCで行われ、「オカナガン国際憲章」の制定へと結実したと推測する。

カルおよびグローバルなヘルス・プロモーション活動との連携・協働をリードすることで福祉と健康によるウェルビーイング実現のための基盤を確立することになる。

UBCでは、具体的に「オカナガン憲章」に沿った行動として、大学の長期目標に六つの優先分野を戦略的アクションとして制定し

1	環境とシステム全体のアプローチ	大学における健康のための環境整備に目をむけさせ、その行動模範を示す。
2	包括的かつ全学的なアプローチ	キャンパスコミュニティの全員に焦点を当てた、相互に関連する複数の戦略を策定し実施する。
3	参加型アプローチ	大学のすべてのステークホルダーの意見による解決策や戦略を導き出す。優先順位により行動への多層的なコミットメントを促す。
4	学際的なコラボレーションとセクター横断的なパートナーシップ	キャンパス内および地域や世界のパートナーと、分野やセクターを超えた協力やパートナーシップを構築し、キャンパス全体のウェルビーイングのための行動の展開、より広いコミュニティにおける健康増進のための知識と行動の創造を支援する。
5	研究、イノベーション、エビデンスの情報に基づく行動	研究とイノベーションによるエビデンスに基づき、キャンパスコミュニティとより広い社会における健康と持続可能性の強化を促す。
6	強みの認識	アセットベース・健康生成論アプローチによる強みを認識し、問題の理解や教訓を共有、キャンパス内の健康と福祉を継続的に向上させる機会を創出する。
7	地域や先住民のコミュニティの文脈や優先順位の重視	地域や先住民コミュニティの文脈や優先事項を理解し、弱い立場の人々、移民や避難民の視点や経験を考慮する。
8	既存の普遍的責任に基づいた行動	社会正義、公平な尊厳、多様性の尊重の原則を体現した健康増進活動を行い、健康決定要因との相互関連性を認識して行動する。

た。その六つとは、「協調的リーダーシップ」「メンタルヘルスとレジリエンス」「食品と栄養」「社会的つながり」「構築と自然環境」「身体活動」である。その行動原則は、表1のとおりである。

ヘルス・プロモーションに向けた大学への取り組みは、学生や職員に健康教育や健康増進を行う以上の意味を持つ。それは、大学の文化、プロセス、政策のあらゆる側面に健康の概念を組み込み、学生のウェルビーイングを保証し、さらには大学を取り巻くコミュニティにその考え方を広げ普及するといった包括的なものである。

## 大学生に対する健康的環境の提供

多くの大学は、急増する学生のメンタルヘルスへのケアに苦慮し、従来のカウンセリングセンターが行ってきた伝統的モデルでは問題解決ができなくなっている。全米三七三のキャンパスからデータを収集する「ヘルシー・マインズ・スタディ」によると、二〇二〇—二〇二一年度の間、大学生の六〇%以上が精神衛生上の問題を一つ以上抱えているとされ (Lipson, S. K., et al., *Journal of Affective Disorders*, Vol.306, 2022)。別の全国調査では、ほぼ四分の三の学生が中程度または重度の心理的苦痛を訴えているとされる (*National College Health Assessment, American College Health Association, 2021*)。急増する学生のメンタルヘルスサービスへの需要に対応するため、多くの大学では具体的なメンタルヘルスへの予防的方法を模索している。

ヘルス・プロモーションに向けた大学の取り組みは、多様な学生にきめ細やかなサポートを提供し、学生が学業やその他の面で成功できるよう健康やメンタルヘルスに配慮した環境を作ることへの啓発活動でもある。それは、教員目線で作られてきた大学文化のマイインドセットを根本から変え、学生のウェルビーイングを教育機関全体の優先事項にする働きかけともいえよう。

UBCの「オカナガン憲章」に基づくヘルス・プロモーションに向けた大学への取り組みは八年を迎え、その成果を検証すべき時期にある。しかし、いざれにせよ、USBの取り組みは学生へのウェルビーイングを中心に据えた新しい大学文化のモデルであるということは、間違いなく言えるのではないだろうか。

### 参考文献

- Agis D., Tsouros, Gina Dowding, Jane Thompson & Mark Dooris *Health Promoting Universities: Concept, experience and Framework for action*, World Health Organization, 1998.
- Okanagan Charter: An International Charter for Health Promoting Universities & Colleges. An outcome of the 2015 International Conference on Health Promoting Universities and Colleges / VII International Congress Kelowna, British Columbia, Canada <https://openlibrary.ubc.ca/media/stream/pdf/53926/10132754/6> (検索日: 十二月二十一日)
- The Chronicle of Higher Education, *Overwhelmed: The Real Campus Mental-Health Crisis and New Models for Well-Being* <https://store.chronicle.com/products/overwhelmed> (検索日: 十二月二十一日)

